

ふるさとの森 の希少動植物

彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森には、埼玉県レッドデータブックにより指定された絶滅危惧種である「オオタカ」の飛来や、同じく絶滅危惧種である「シュンラン」、準絶滅危惧種である「カラタチバナ」などの希少な植物が確認されています。

今後、高木の間伐により、新たな植物が芽吹く可能性もあります。

ここを訪れるみなさまには、豊かな自然環境に親しんでいただくと共に、その環境をやさしく見守っていただきますようお願いします。



オオタカ



シュンラン



カラタチバナ

保全に至るまで

彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森は、古くから地元のみなさまに親しまれる山林でしたが、一方で不法投棄なども多く、平成9年から埼玉県のふるさとの森の指定を受け、地元のみなさま、ボランティアのみなさまと保全を行ってまいりました。

平成19年からは、市のふるさとの森として指定し、平成22年度の埼玉県の「まちのエコ・オアシス保全推進事業」により、森の一部を土地所有者のご協力により公有地化し次世代に継承していくことになりました。

交通のご案内



発行 白岡市 環境課
〒349-0292
埼玉県白岡市千駄野432
Tel.0480-92-1111



白岡市マスコット なしべえ なしりん

埼玉県「まちのエコ・オアシス
保全推進事業」保全地

ひこべ えしも おがさわら いせき
彦兵衛下小笠原遺跡
もり
ふるさとの森

愛称：ひこべえのもり



埼玉県マスコット「コバトン」



ふるさとの森

埼玉県は、昭和54年に「ふるさと埼玉の緑を守る条例」を制定し、県を象徴する緑を保護する取り組みを行いました。同条例は、平成17年に「ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例」に改正され、白岡市内では、「彦兵衛下小笠原遺跡」「八幡神社社叢」「白岡東地区」「実ヶ谷川端」の4つのふるさとの森が指定されていました。

市内にある樹林の多くは屋敷林や社寺林です。かつて、薪を取ったり、落ち葉で腐葉土を作ったりしたいわゆる雑木林はほんのわずかしかなかった残されていません。

彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森は、わずかに残された雑木林のひとつで、コナラ、クヌギ、イヌシデ、エゴノキなどの落葉広葉樹とシカラシ、ヒサカキ、シロダモなどの常緑樹が見られます。



彦兵衛下小笠原遺跡

彦兵衛下小笠原遺跡は、上小笠原遺跡に隣接し、両遺跡は、大宮台地の慈恩寺支台北部に位置します。東に向かって開口する小谷の南側の台地縁辺に展開し、両者の間には、小規模な埋没谷が存在していました。

上小笠原遺跡は、これまでに4回にわたる発掘調査が行われ、約2万年前の後期旧石器時代のナイフ形石器をはじめ、縄文時代の遺構、遺物が検出されています。

中心となるのは、約3千5百年前の縄文時代後期前半に相当する堀ノ内式期で、15軒に及ぶ住居跡、土坑などが確認されている。特に平成13年に調査された地点では、直径10mを超える大型住居跡が検出され注目されました。

下小笠原遺跡は、発掘調査例がなく明確な内容は不詳ですが、遺跡東側では、縄文時代中期末葉から後期初頭にかけての遺物が採集されています。また、ふるさとの森に隣接する植木畑開墾時の試掘調査では、縄文時代の遺物に混じって、中国から輸入された青磁が確認されていることから、中世の遺跡でもあることがわかります。



ふるさとの森での活動

ふるさとの森では、地元の周辺住民の方々、ボランティアの方々が、森の保全活動を通じ、市民憲章である「豊かな緑を愛し、自然環境を守ります。」を実践しています。



また、ボランティア団体や市などが、自然観察会、環境学習会、自然体験など様々な活動を行っています。

